

2022

11月-9月

広報 vol.262-263 合併号

同仁



巻頭特集

理事長・院長 交代
 理事長・院長 退任の挨拶 山内 英樹
 理事長・院長 新任の挨拶 山内 裕樹

医局便り

私の研修記録
 整形外科 堀内 昭宏

LEADER'S VOICE

外来ナースアシスタント
 副主任 粟國 登紀子

セクションたより

居宅介護支援センター シルバーの里
 訪問看護ステーション ぐしくま

「正確な診断」「適切な治療」「良質な対応」

医療法人 八重瀬会

同仁病院

創立100周年 これからも地域と共に

■ 表紙タイトル文字 作: 山内 英樹 (八重瀬会 相談役)

理事長・院長 就任にあたり

先代、山内英樹より引継ぎ、2022年10月1日より、八重瀬会理事長兼同仁病院院長に就任することになりました山内裕樹（やまうちゆうき）と申します。

ご存知の方々もいらっしゃるかもしれませんが、簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は母の実家である福岡で生まれ、幼少期は父が勤務していた東京で育ちました。小学校2年3学期より沖縄に戻り、那覇市立泊小学校から、昭和薬科大学附属中学、高校を経て、大学は上京するなら国立以外は行かせない、という某所から強い圧力もあり、父と同じ東京医科歯科大学へ入学しました。東京、と言えば聞こえはいいのですが、大学教養部は千葉県の市川市国府台というド田舎にあり、グラウンドは破傷風菌が常在する極めて危険な環境でした。医科歯科生は入学手続き時に破傷風ワクチンを打たされます。住まいは千葉県谷津市というこれまたド田舎にあった沖縄学生会館という、月額23,000円、朝夕食付、電気ガス水道代込み、という破格の県民寮に住まわせて頂いておりました。大学時代はハンドボール部に所属し、それなりに真面目に部活をしておりました。

その後、学部に上がり、東京都心ど真ん中のお茶の水という場所にあるキャンパスに通う事になりやっと東京らしい環境になり、渋谷、新宿、池袋、銀座、六本木、麻布、青山といったオシャレな街に用もなく立ち寄りたりのがささやかな楽しみでした。

卒業後は整形外科医局に入局し、阪大系三次救命センターや、件数全国一位の脊椎専門病院、また地方外傷病院などを経て、大学病院で股関節専門班員として勤務しつつ、2009年より当院非常勤医師として勤務する傍ら、社会人大学院を卒業し学位を取得したのちに、2011年6月より当院へ赴任することとなりました。赴任後は、大学の整形外科非常勤講師・臨床准教授として定期的に大学外来や手術指導に入りつつ、同仁病院整形外科を県内有数の関節センター病院へと成長させました。

いろいろ記載しますと華やかな経歴のようでもあり、自慢のように聞こえるかもしれませんが、しかし実は私は皆様とほとんど違うところはないと思っております。学生時代も飛びぬけて優秀だったわけでもなく、特殊な才覚があるわけでもありません。

小学生時代は円盤状半月という膝の先天奇形があり、体育すらまともにできませんでした。県内で対応できる施設はどこにもなく、わざわざ福岡の大学病院まで行って治療を受けました。沖縄だからってこんな面倒くさい思いをしなければならないことに違和感を覚え、将来は沖縄であってなんでも対応できる医療体制を作りたい、と思うようになりました。中学時代は同級生80人中60番位の席次でした。高校に入り、このままではマズイ、ということで優秀な同級生に弟子入りし、個別家庭教師をタダでもらいました。これを繰り返して、やっと少しまともな成績となってきたところで、次は同級生たちに勉強で負けたくない、という強い思いが芽生えるようになりました。そこで自分なりに工夫をし、授業で習ったことは授業中に消化できるように集中するようになり、試験前だけは「あと2時間頑張れば勉強内容が理解しやすくなるので後2カ月が楽になるはず」と自分に言い聞かせて気合を入れて勉強できるようになりました。これを繰り返すと成績は徐々に上がり、高校3年生年末にはギリギリ志望校を受ける資格がある程度までになりました。年明けからは「この2カ月死ぬ気で勉強したら、その後の人生が大きく変わるはず」とこれまた自分に言い聞かせ、連日勉強漬けとなり、なんとか志望校に現役で合格できました。大学卒業後は、経験を若いうちに積んでおかないと後で絶対苦労するはず、だから若いうちは苦労してでもできる限り経験を積もう、という想いがあり、今の初期研修に該当する二年間は、当直・オンコールの時以外も積極的に診療に携わるようにして、毎週時間外が100時間を超えるほど働いていました。その後も大学医局在籍中は同様の気持ちを持ち続け、相当の症例経験を積むことができました。

沖縄に戻ってきてからは、豊富な症例経験を糧に、地元の皆様にも全国トップレベルの整形外科医療を提供できるように、医療内容の積極的な発信に力を入れました。ラジオ出演、市民講座、整形外科地方研究会参加、テレビ出演、ホームページ・SNS発信など、できることをどんどん推し進めました。患者様の認知が増え、手術症例が増えてくると、それを効率よく安全に進めるための体制づくりが大事と考え、経営部門に携わらせて頂くようになりました。

以上から、私の強みは、

- ・ダメな状況やできない状況を経験している。そこから脱却するための方法を経験している。
- ・自分の将来的な理想像を比較的しっかり持っている。そこへ向かうために行うべき努力をすることができる。
- ・沖縄という地理的なハンデを地元の方々が負わないようにしたい。そのための努力は惜しまない。

という点だと思っており、皆様と違う点があるとすれば、少しだけその気持ちを強く持っているだけではないかと思っております。

医療介護分野は、国民皆保険制度のひずみが徐々に出てきたところに、新型コロナウイルス感染の大流行があり、一気に問題点が噴出することになりました。そのついで現場に回ってきて、現場スタッフは疲弊し、改善策も見えず、新型コロナウイルス感染鎮静化の見通しは立たず、まだまだ先行きが見えない状況だと思えます。このような厳しい状況、ある意味ピンチの状況といえる時に理事長、院長職を拝命するのは荷が重いと感ずることもありました。しかし考え方を変えれば、今の世の中、ピンチの中にチャンスが必ずあるはず。パソコン業界が頭打ちになった時は、革新的なスマートフォン開発と、卓越したブランド戦略で、世の中のモバイル端末の概念を変革し、Appleは一気に世界一のテクノロジー企業となりました。メディア業界は急激に廃れてきて、テレビ、ラジオ、新聞のあり方が問われるようになってくると、YouTuberやInstagramerなどSNSインフルエンサーが台頭してくるようになりました。私の一番の役目は、この医療介護がピンチな状況下に、チャンスを見出すことだと思っています。

これを実現させるためには、私一人の力では到底無理であり、職員皆様、一人一人のお力添えが絶対に必要です。皆様が同じ方向を向いて、力を合わせていく必要があります。

そのためには、就任式の際に申し上げた三点、これを皆様に実践して頂く必要があります。

- ①八重瀬会職員としてプロフェッショナルであってください。
- ②チーム八重瀬会の一員であることを忘れないでください。
- ③100年を超える歴史がある八重瀬会の一員であることに誇りを持ってください。

是非今一度ご確認よろしくお願いたします。

長い人生において、多忙な時、つらい時、自分を見失いそうな時もあると思います。伝説の経営者である京セラ創業者の故稲盛和夫氏が残した素晴らしいお言葉があります。

「動機善なりや、私心なかりしか」というものです。顧客に対しなにかを行うときに、私利私欲からの行動ではなく、正しい動機に基づく行動なのか、常にセルフチェックしながら業務を行うべき、という内容です。

混迷する医療介護の現状においても、この気持ちを持ちながら業務に携われれば、迷うことも減るでしょうし、何をすべきかも自ずと見えてくるだろうと思います。患者・利用者様には決して迷惑をかけることもなく、また職場にも良い形を提供できるはずですし、最終的にはご自身もより良い待遇を受けられるでしょうし、モチベーションも上がると思っています。

八重瀬会職員の皆様、是非一緒に頑張っていきましょう。

今後ともお力添えの程よろしくお願申し上げます。



居宅介護支援センター シルバーの里



スタッフ紹介

後列左より 比嘉司、豊島悠志、名嘉原安之
前列左より 前田令巳央、花城ひとみ

主な業務

- ・介護保険に関する相談
- ・要介護認定申請手続き代行
- ・ケアプラン作成
- ・介護サービス事業所との連絡調整
- ・福祉用具、介護用品等の紹介
- ・住宅改修に関する相談



現在、主任介護支援専門員2人、介護支援専門員3人で要支援・要介護者の方々を支援しています。

介護が必要になっても、住み慣れたご自宅・地域で生活が送れるよう介護保険をはじめとする福祉サービスを利用できるよう関係各所との連絡調整を行ってまいります。介護保険や福祉を取り巻く状況はどんどん変化しており、事業所内で定期的に行っている事例検討会や介護保険制度・インフォーマルサービスなどの情報を共有しながら、スキルアップを図ってます。

利用者様の「笑顔」のため支援してまいります。

訪問看護ステーション ぐしくま

スタッフ紹介

後列左より 岡崎美和、具志堅ひとみ
前列左より 手登根邦子、具志堅光江、中村和江

主な業務

- ・指定難病(厚労省が定める疾患・末期癌)
- ・医師に指示による医療処置
- ・カテーテルなど医療機器の管理
- ・ターミナルケア
- ・病状、障害の観察と健康管理
- ・療養、看護、介護方法のアドバイス
- ・水分、栄養管理、排泄ケア、清潔ケア
- ・リハビリテーション
- ・褥瘡や創傷の処置
- ・保健・福祉サービスなどの活用支援
- ・医師、看護師、ケースワーカー、ケアマネジャーとの

連携・カンファレンス
・24時間365日の緊急対応



訪問看護ステーションぐしくまは、病院やクリニックからの患者さんを随時受け入れ、良質な看護を提供しています。医療と介護・生活看護を包括的にケアし、退院後も医師との連携を密にし、安心して在宅、または施設での療養が行えます。また、介護保険でのサービスにおいては、ケアマネジャーと連携し、ご利用者さんのご意思や想いを尊重しながら、地域、在宅で看護師が携わっていきます。医療的ケアや生活の中でADL・QOLが維持向上し自立できるよう支援します。

当ステーションは、同仁病院グループで、浦添市大平にある「やえせAssemble Garden」内にごございます。在宅での看護は、ぜひ私たちにお任せください。



CT装置・MRI装置が新しくなりました

AI技術を搭載した最新の1.5テスラMRI装置

被ばくなしで安心

MRI装置は、磁石と電波を用いて体の様々な部位を画像化するものです。放射線を使用しないため被ばくの心配もありません。

静かで快適

従来のMRI検査は、狭いトンネルのなかで大きな検査音が発生する、患者さんにとってストレスの大きい検査でした。この装置は、最新の静音技術により、検査音の抑制を実現しました。快適な検査空間を提供します。

高精細かつ短時間

画像処理としてAI技術であるディープラーニングを設計段階で用いたSNR向上技術を搭載しています。そのため従来よりも高精細な画像を、より短時間で撮像できます。



最新鋭80列マルチスライスCT装置



本装置は0.5mm×80列の検出器を有しており、飛躍的に検査時間を短縮できるため、患者様に負担の少ないやさしい検査が短時間でできます。

最先端機能であるAI技術を搭載しており、大幅な被ばくの抑制や造影剤の使用量低減機能、また従来困難であった金属が体内に留置されている患者様でも、より正確な検査を受けられる装置です。

より詳細な情報が取得できるため、早期の病変発見や、診断結果のわかりやすい3D画像を提供できるなど、最高水準の診療情報を提供できますので、安心して当院の80列マルチスライスCT装置をご利用ください。

- AI技術により大幅な被ばく低減を実現し、
低侵襲な検査をお受けいただけます
- より細かな病変を発見できます
- 短時間で広範囲の検査が可能です

新任医師紹介



田畑 春菜 (たばた わかな)

麻酔科

平成26年 聖マリアンナ医科大学卒業

認定医・専門医 所属学会

日本麻酔科学会専門医 日本麻酔科学会
日本麻酔科学会認定医

ごあいさつ

安全な手術麻酔管理だけでなく、術後の痛みの緩和にも積極的に介入し、患者さんが安心して当院で手術が受けられるようサポートします。



堀内 昭宏 (ほりうち あきひろ)

整形外科

平成31年 徳島大学医学部卒業

認定医・専門医 所属学会

日本肩関節学会
日本股関節学会

ごあいさつ

皆様はじめまして。東京医科歯科大学より派遣されて参りました。沖縄にはこれまで縁がなかったため、あらゆることが新鮮に感じられる毎日です。困ったことがあれば気軽にご相談ください。



私の研修記録



整形外科 堀内 昭宏

さわやかな秋晴れの続く今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。
沖縄は10月になっても暖かく、いつまでTシャツ一枚で過ごせるだろうかと思いを馳せております。

皆様初めまして。この度10月より同仁病院に入職しました。整形外科専攻医2年目の堀内昭宏と申します。整形外科専門医研修の一年として半年間、同仁病院でお世話になりました。短い期間ではありますが皆様よろしくお願いたします。

2019年3月、過酷な医師国家試験を終えた私は、同級生達と卒業旅行のため沖縄を訪れていました。国家試験合格発表当日、なぜか鍾乳洞(おきなわワールド)の中にいた我々は、まさに発表の瞬間、スマホが圏外である事に気づき鍾乳石などそっちのけで我先にと外に走り出しました。息を切らせながら見た画面に自分の受験番号を確認し、皆で喜びを噛み締めながらココナッツジュースを飲んだ事をよく覚えております。

というわけで私の医師人生のはじまりは他ならぬここ、沖縄と言っても良いかと思っております。そんな私がこの度、沖縄で働く機会をいただいた事には、なんだか不思議な縁を感じています。

医師となつてからは東京都内で2年間の初期研修を終え、3年目より整形外科医として大病院、二次救急病院、三次救急病院で勤務いたしました。今回始めて地方での医療に携わる事になります。

ここ同仁病院整形外科では一般外傷はもちろんのこと、様々な分野の診療を行っています。

TEA(人工股関節全置換術)やTAA(人工膝関節全置換術)、CMA(人工膝関節単顆置換術)といった人工関節手術。変形性膝関節症に対する治療の一つである骨切り術。前十字靭帯再建術や半月板縫合といった膝関節鏡手術。腰椎椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症といった脊椎疾患に対する手術。外部の医師をお招きしての手疾患や肩疾患に対する手術。など多岐にわたります。これほどバリエーション豊かで充実した診療を行える病院はそう多くはないと思います。このような恵まれた環境で研修を行うことができる私は果報者だと感じております。できる限り多くの事を学び取れるよう精進します。

まだ就任間もない私ですが、同仁病院に勤務し始めて、まず感じた事はスタッフの皆様が非常に親切であるという事です。また多職種同士の連携も密であり、患者様にとっても来て良かったなと満足していただけの病院に違いないと思います。私自身もその一端を担い皆様と協力していけたらと思います。改めてよろしくお願いたします。

以上、拙文ではございますが私の研修記録となります。半年間よろしくお願いたします。



「ナースアシスタント」

外来アシスタント 副主任 栗國 登紀子



私は、当院に10年以上勤めていますが、事務職を10年経験した後、2ヶ月の期間限定で、人間ドック室(現在のヘルスサポート室)アシスタントとして採用されました。現在は外来ナースアシスタントとして勤務しています。

入職当時は、初めての「医療の仕事」だったので、それまでに経験した事のない仕事内容とスピード感、連携の凄さに戸惑う事ばかりでしたが、先輩方に指導して頂き、仕事をこなす事が出来るようになりました。患者さんからの質問に対応する看護師や医師の説明・回答を聞いて勉強にもなりました。この仕事に興味を持ってきた時に継続しませんかと云われた「宜しくお願いたします」と言った事を今でも覚えております。

コロナが流行し始めてから3年、第1波から7波まで来て、最近では有効治療薬は未だ開発中の中、行動制限もなく、いつ終息するのか分からない状況が続いています。コロナ禍で我が家の状況も変化しました。コロナ禍前は、子供世帯を含め3世帯(14名)が共同して家事を行っていましたが、各々の家庭で仕事の終わる時間や休みの日がバラバラだった為、夕御飯・お風呂・子供達の送迎等を分担して夜はとも賑やかでしたが、コロナ禍になり感染対策の為、分担がなくなりました。我が家は3人子供がいて2人は県外の学校に進学していますが、1人は結婚し、孫たちが遊びに来ていたのですが、保育園で濃厚接触者になったり、風邪症状がある時は来るのを控えてもらい会えない日が多くなり寂しい日々が続いています。早くコロナが落ち着いて、安心して会える日が来るのが待ち遠しく思います。

入職後、現在まで色々な事がありましたが、患者さんが安心して外来受診が出来るよう、スタッフと共に精進して参ります。

外来ナースアシスタントの仕事内容

看護師の指示のもと

- 書類の準備・整理補充
- 問診、バイタル測定、カルテ入力
- 診療材料の補充、準備、片付け
- 検査の準備、補助、片付け
- 排泄に関するお世話
- 電話応対(外来受診者の予約・予約変更)
- 検査や入院の案内
- 環境整備、ベットメイキング、リネン類の管理
- 着替えや車椅子、ベッドへの移動、移送
- ... 等々



同仁病院 看護部 WEB 説明会

同仁病院看護部の概要、教育体制などを説明し、
参加された方からのご質問に丁寧にお答えしていきます。

医療法人 八重瀬会 同仁病院看護部のページより

お申込み方法

このバナーをクリック⇒



こちらのQRコードからも
アクセスできます

開催日時をご確認いただき、お申込みフォームへ必要事項をご記入して下さい



web会議サービス「Zoom (ズーム)」のビデオ通話機能を使用します。
スマートフォンで参加する場合は無料アプリ「Zoom Cloud Meeting」のダウンロードが必要です。

発行者



医療法人八重瀬会 同仁病院
企画室 広報誌制作チーム

〒901-2133 沖縄県浦添市城間1-37-12
TEL 098-876-2212 FAX 098-876-4209



■編集後記

「医療DX (デジタルトランスフォーメーション)」という言葉が最近よく耳にします。データやデジタル技術を活用し問題解決をはかることの意ですが、ヘルスケアアプリや手術支援ロボットなど広く普及しているように感じます。最近ではAIによる問診で病名まで算出してくれるものもあるとか……。[平]



facebook

Instagram



YouTube